

# 行動する農業委員会

## 奈良市農業委員会

### 1. 農業の概要

世界遺産群の中にも、古くから栄えた文化と農耕の歴史がたくさんあります。奈良盆地は、気温の年較差・日較差が大きい内陸性気候で、年間平均気温14.6°と全国の平均的な気温です。しかし、降水量（年間1,300mm）が少なく、水源を確保するため、ため池や井堰の築造が多数見られます。

本市の中・西・南地域は平坦地で、都市近郊農業の有利性を生かし、米、イチゴ、菊菜等の軟弱野菜を中心に多品目の農作物を作付し、京阪神の市場や近郊の直売所へ出荷されています。

東部地域は、森林と農地が大部分を占め、豊かな自然と歴史に生まれ水源の涵養や豊かな緑の保全に努めると共に、生産基盤（ほ場整備・集落営農など）や生活基盤の整備が進められています。この地域特有の冷涼な気候を生かし、食味の良いお米やお茶が基幹作物として作付されています。

月ヶ瀬・都祁地域では、梅やお茶などの特産物をはじめ、農産物の加工・流通・販売を一体化した新産業が進められています。

### 2. 農業委員会の取り組み

#### ○遊休農地解消モデル事業

増加傾向にある遊休農地の発生防止並びに解消に向けた取組として、モデルほ場を設定し、農業委員自らが肥培管理（草刈り・耕起・植栽等）を行うと共に、看板「遊休農地を解消しよう」を設置し、地域住民へ農地の有効利用を促しています。

また、次世代を担う子どもたちを招き農業体験（さつま芋の定植と収穫、ヒマワリの植栽）を実施し、食べ物の大切さ、それを育む農業や自然の大切さなどについて、学んでいただく機会を提供します。



遊休農地の草刈り



遊休農地を解消し定植したサツマイモを収穫

### ○農地パトロール

農業委員が中心となり、定期的な農地パトロールを実施し、遊休農地の解消並びに優良農地の確保、無断転用の防止に努める。

また、パトロールを実施することで、農地制度の適正な運用、公平・公正な審議、地域の貴重な資源である農地を確保し、農業の振興、農村地域の活性化、農業経営の安定化を目指しています。



農地パトロール

### ○農業経営に関するアンケートの実施

アンケートや農業相談会を実施することで、地域住民と積極的に関わり、意見や情報を集め、地域の実情に見合った解決方を検討します。

## 3. 取り組みに当たっての課題

定期的な農地パトロールや遊休農地解消モデル事業を行うことで、地域農業の現状把握に努めています。

しかし、農業者の高齢化や有害鳥獣の被害により、遊休農地が増加しています。このような状況の中で、優良農地の確保、遊休農地の解消に苦慮しています。



アンケート調査実施中

## 4. 課題への対応方策

地域農業の維持発展を図るため、農地法等に基づき法令遵守と透明性の確保による法令業務の適正な執行、ホームページや委員会だより等を活用し、新たな農地制度の周知に努め、制度の適正な運用を図り公平・公正な審査に努めています。

また、定期的な農地パトロールを実施し、遊休農地の発生防止や耕作放棄地を解消するため指導を徹底し、地域の貴重な資源である農地の確保に努めると共に、農業相談会やアンケート調査を実施しています。

各地域の農業者等からの意見・要望を取りまとめ、農政提案や地域ビジョンづくりなどに生かすため、農業委員会等に関する法律第6条第3項の規定に基づき建議しています。